

仮置き区名案の考え方

資料3

1区	あがきた 阿賀北	阿賀野川の北東であり、昔から阿賀北（揚北）と呼ばれ、地域に馴染んでいる名称であることから。
	きた 北	新市域の中で最も北に位置する区であることから。
	とよきた 豊北	豊栄と北地区という2つの名称の合成から。
	とよはま 豊浜	豊栄と松浜・南浜という2つの名称の合成から。
	ゆたか 豊	豊栄の一文字であり、豊かな区というイメージから。
2区	あがにし 阿賀西	阿賀野川の西側に位置する区であることから。
	あさひ 旭	東の方向を意味するイメージから。
	こうとう 港東	新潟港（西港）の東側に位置する区であることから。
	つうせん 通船	通船川が区の中を通っていることから。
	みなと 湊	現在でも古湊町という町名が残っているように、かつての阿賀野川の河口に湊があったことから。
3区	しなの 信濃	市内を流れる大河・信濃川から。
	なか 中	古くからの中心地である本庁地区と沼垂地区を含む区なので。
	はくさん 白山	新潟市を代表する日本初の都市公園である白山公園があり、市民に親しまれていることから。
	ばんだい 万代	国の重要文化財である萬代橋があることから。また、表記についてはわかりやすいことから「万代」とした。
	りゅうと 柳都	新潟市の木は柳であり、堀と柳の町のイメージから。
4区	あしはら 芦原	豊かな水郷をイメージさせることから。
	うめだ 梅田	名産である梅と田園のイメージから。
	こうなん 江南	信濃川の南側に広がる区であることから。
	こなん 湖南	鳥屋野潟の南側に広がる区であることから。
	みずほ 瑞穂	瑞々しい稲穂のことであり、稲穂の実る田園地帯のイメージから。